

営農情報

ナバナの栽培

ナバナは、アブラナ科の植物で、主に蕾・茎・葉が利用されます。さつと湯に通しておひたし、サラダ、炒めもの、また、さまざまな料理のトッピング材料に、幅広く利用できます。

連作を避け、排水不良の圃場では高畝栽培にしましょう。

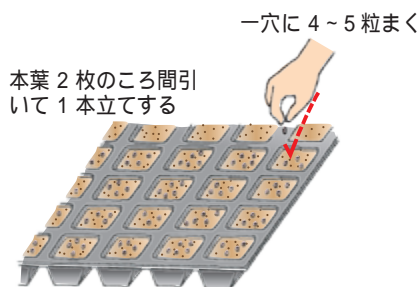
主に直播きで栽培しますが、セルトレイで育苗し、移植栽培もできます。

過去に根こぶ病が発生したことがなく、3年以上アブラナ科野菜を作付していない圃場を選びましょう。

苗づくり

前作の都合などで、直播きできない場合は、128穴のセルトレイを使って苗づくりを行います。セル全体に育苗培土を詰め、セルの穴に4〜5粒ずつ播種し、

薄く覆土します。播種後、たっぷりと灌水します。発芽後、本葉2枚程度の頃に各穴1本になるように間引き、本葉4〜5枚の苗に仕上げます。



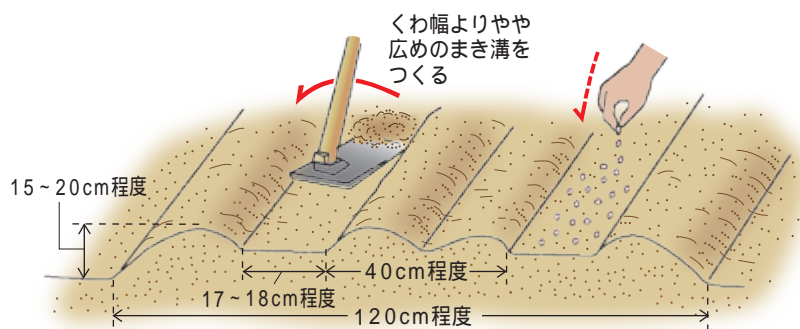
畑の準備

土づくりは、播種・定植の約2週間前までに、1aあたりに完熟堆肥を200キ口程度、苦土石灰10キ口程度を施用し、深く耕しておきます。元肥は、約1週

間前までに、1aあたりにIB化成S1号を6キ口程度施し、幅120センチ程度、高さ15〜20センチ程度の畝を作ります。

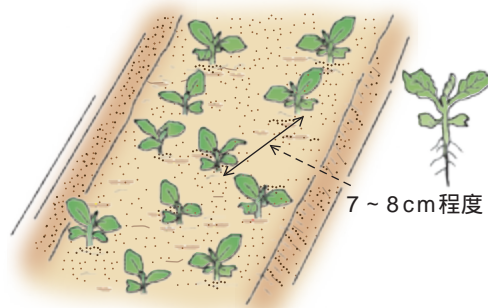
播種・間引き

直播栽培の場合、播種時期の目安は、9月上旬〜10月下旬です。左図のように、くわ幅より少し広めの播き溝を掘り、2条に種を播き、土を1センチ程度覆土します。



本葉が2〜3枚の頃に、株間が7〜8センチ程度になるように1回目の間引きを行います。

1回目 間引き



2回目は、本葉が4〜5枚の頃に、株間が15〜20センチ程度になるように行います。

2回目 間引き

